# SiNAPIS ニュース

社会活動センター・シナピスは平和を実現する使命に向けて生きる人びとを応援します

No. 70 2022. 3

## “すべてのいのちを守ろう”

2021 年正義と平和大阪大会テーマ

― 誰も置き去りにしない世界に向けて　No one will be left behind ―

## 「NO WAR わたしたちは戦争を許さない！」

「たゆまず……」

四旬節教皇メッセージより

カトリック大阪大司教区　社会活動センター　シナピス

地上でもっとも小さいといわれている種子、それがシナピス(からし種)です。
イエスは神の愛がすべての人におよび、互いに尊重し合い、愛し合うように願って平和の種をまき、
やがて鳥が巣をつくるほどの大きな木になると約束しました。

TEL　06-6942-1784　FAX　06-6920-2203　E-mail　sinapis@osaka.catholic.jp

# 巻頭言

## 高山右近列聖運動に思う

障がい者委員会担当　石井　朗

毎年２月が近づくと、どれだけ説明を聞いても列福・列聖運動をする意味がわからないので、割り切れないままいろいろ思いめぐらすのが習慣になりました。1614 年年末にフィリピンに流された高山右近や内藤ジョアンや妹のジュリアたち、そしてハンセン病者たちを、「難民・移住移動者の守護者」と考えてみようかなどと思ったりします。

彼らは日本を追放され、困難な船旅を経験しましたが、流刑先のフィリピンでは大歓待を受け、生活も保障されたそうです。スペイン総督やカトリック教会の政治的思惑が背景にあるのでしょうが、政治難民受け入れ側の姿勢としては、現在の日本の難民受け入れの姿勢と比べると雲泥の差です。高山右近は病を得て間もなく帰天しますが、内藤ジョアンたちは、フィリピンのマニラのスペイン人が作った首都イントラムロスの外側のディラオ村に、今後の日本からの難民増加を予想して受け皿となる日本人町を作ったと言います。この村の日本人人口は多い時で 3,000 人に上ったようですが、その後の日本の鎖国政策で日本人の流入が途絶えてからは、次第にフィリピンに同化していったそうです。とすれば、このころを基点とする日本人移住者の子孫は数百万人から数千万人ということになるのでしょうか。

ジョアンの妹のジュリアは日本で初めての女子修道会を作った一人で、フィリピンでは同じくイントラムロスに近いサンミゲル（現在のパコ）に家を得て修道院を作り、現地の人たちのために働き、1665 年まで続いたそうです。

また、その数十年前に創立されたハンセン病の療養所、サンラザロ病院は日本から送られてくるハンセン病のキリシタンたちの受け皿になったようです。ハンセン病の療養所としては 130 年ほど前にクリオン島に移されましたが、現在のサンラザロはアジア有数の感染症の専門病院としてその歴史を継いでいるそうです。

２月３日はわたしにとっては、
「日本の難民・移住移動者の歴史を振り返る日」です。

（参考）
片岡瑠美子　『キリシタン時代の女子修道会～みやこの比丘尼たち～』

アンドレス・リオボ　『近世非人垣外形成とキリシタンとの関わり』

## 今月のページ

■ ニュースレター 目次 ■

1　巻頭言
2　子どもたちに伝えたい平和
3　ノーモア「クリスタル・ナハト」
5　時報３月号より
7　助けてください
9　教えてください～！！　最終回
11　ガリラヤの風
13　みんなのけいじばん
14　工房だより
15　あとがき

■ チラシ・ご案内 ■

- シナピスの風
- ３月の祈り
- 忘れないあきらめないカレンダー
- 緊急　祈りの集い　「ウクライナのために祈る」
- 『原子力発電は“温暖化”防止の切り札ではない』改訂版リーフレットと発行のお知らせ
- 声明文　ウクライナへのロシア軍軍事侵攻の中止を！
- 2022 年四旬節教皇メッセージ
- 2022 年「性虐待被害者のための祈りと償いの日」にあたって
- 『性虐待被害者のための祈りと償いの日』リーフレット

# 子どもたちに伝えたい平和

## リハニーヤという街で出会った人々

弁護士 西谷　春平

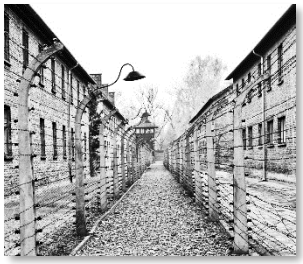
少し前の話になりますが、2015 年 3 月にトルコへ行きました。当時、トルコの隣国シリアでは 2011 年 3 月から始まった内戦が 5 年目を迎え泥沼化していました。21 世紀最悪の人道危機といわれるこの内戦では、隣国のトルコやレバノン、ヨルダン等へ逃れる多くの難民が生まれていました。私が訪れたシリアとの国境を有するトルコ南部のリハニーヤという街は、人口数万人の小さな街でしたが、10 万人以上のシリア難民が押し寄せていました。パッと見ただけでトルコ人とシリア人の顔の違いは分かりませんが、着の身着のまま逃げてきたシリア難民は、服が黒く汚れ、髪の毛もボサボサという特徴から簡単に見分けることができます。日中に学校へ行かず、ごみ拾いをして日銭を稼いでいた 6～10 歳ぐらいの子どもたちに会いました。

また、この街には、反政府軍の兵士がいました。内戦で怪我を負った兵士が治療のために一時的にトルコへ逃れてきます。兵士と言っても内戦が始まってから戦うことになったので、武器を持ってしまった 20 歳前後の若者たちという印象でした。この当時、私は 20 歳でした。自分の前に、同じ年の青年が立っていて、怪我を治してシリアへ戻りたいといいます。日本に戻って大学の講義を受ける自分と、シリアに戻って戦争の最前線に立つ彼らとのこの大きな差は何なんだろうか、とても大きなショックを受けたことを覚えています。

日本に帰ってからシリア内戦に関する情報を日々収集する中で、一本の映画に出会いました。シリア内戦の映像をそのまま流す「ホムスへの帰還（Return to Homs）」というその映画では、ユースの代表選手に選ばれる程の実力を持つサッカー選手のバセットが武器を持ち反政府側で戦っていました。がれきの山と化した市街地への空爆や銃撃戦の映像は、同じ世界で起きているものとは信じがたいものです。2019 年、この映画の主人公バセットが政府軍との戦闘により亡くなったとのニュースを読みました。映像で見ていた人が戦争で亡くなったと知ることは初めての経験でした。それに彼は自分と年齢も近かったのです。トルコのリハニーヤで出会った若者たちはまだ生きているのだろうか、そう思わざるをえませんでした。

平和な世界で普通に生きる、そんな当たり前のことが本当はとても難しいことなのだと感じます。平和のうちに生きるという、人が人であるがゆえに当たり前に保障されなければならないその権利は、簡単にはく奪されてしまう。「なぜ、彼らは戦わなければならなかったのか」「なぜ、自国から逃げなければならなかったのか」「なぜ、こんなに悲惨なことが起こるのか」「なぜ、こんなことが許されるのか」。そう考え続けることが平和をつくる第一歩になるのではないかと思います。色んなものを見て知り、「なぜ」と素直に自分に問いかけることのできる感性を大事にしたいと思います。

# ノーモア「クリスタル・ナハト」―桜本でのヘイトクライムを許さない！



1938 年 11 月 9 日の夜から翌日未明にかけ、ドイツ各地で暴徒がユダヤ教の会堂や商店を襲いました。これを契機としてユダヤ人への迫害は激化していきます。窓ガラスが砕け散り月の光にきらめくさまから、この夜は「クリスタル・ナハト」（水晶の夜）と呼ばれ、ユダヤ人ホロコーストの歴史の忘れてはならない出来事として記憶されています。

先月、3 本の包丁を手にする写真が「武装なう」（武装した）との言葉とともにネットに投稿され、更に「桜本で～と抗争したい」とツイートされました。明確に地名をあげた脅迫は、桜本の人々を恐怖に陥れています。

川崎市川崎区は外国にルーツを持つ住民が多く住んでいます。その一角の桜本にある「ふれあい館」は「日本人と韓国・朝鮮人を主とする在日外国人が、市民としてこどもからお年寄りまで相互にふれあいをすすめることを目的としています。…基本的人権尊重の精神に基づき、差別をなくし、共に生きる地域社会を創造していくため…川崎市が設置しました」（「ふれあい館」HP より）
この「ふれあい館」を標的として、「死ね」「殺せ」などのヘイトスピーチが執拗におこなわれてきました。「ふれあい館」職員で在日三世の崔江以子さんは名前と顔を出して抗議活動をし、ネット上で名指しで脅迫されました。「根拠法がない」ために行政が取り締まりを渋る中、崔さんたちは国会を動かして「ヘイトスピーチ解消法」が誕生、2019 年に川崎市は刑事罰付きの「ヘイトスピーチ禁止条例」を全国に先駆けて成立させました。しかし 2020 年、「ふれあい館」宛てに「在日朝鮮人をこの世から抹殺しよう」と書いた年賀状が、川崎市には「爆破する、抹殺しよう」などと書いた葉書が送られてきました。その挙句の先月の抗争扇動です。

崔さんは、川崎市の「市人権尊重のまちづくり推進協議会」のヒアリングに防刃着を着こんで臨み、心身への深刻な打撃とネット被害に対策が追いついていない現状を語り、「社会が不安になるとマイノリティが的にされる。差別の被害から守られる条例の運用を心から望みます」と訴えました。「ふれあい館」も市民に対し、桜本のまちを守るために支援、協力してほしいとの文書を発表しています。学校などでいじめが起きた時、加害者はもちろんのこと、見て見ぬふりをする傍観者の存在が被害者を深く傷つけます。この事件は全国紙ではほとんど報道されていません。でも私たちは傍観者にはなりたくありません。抗議の声をあげ、この社会をよりよく変えていきたいと望んでいます。それは被害者の支援にとどまらず、ささくれだった心での暴力の扇動を生み出さない社会を創ることにつながると信じています。

人々の間にある憎悪が堰を切ってあふれ出した瞬間が「クリスタル・ナハト」でした。日本でその再来があってはなりません。

ノーモア「クリスタル・ナハト」

22.2.16 新
ネット被害
「対応追いついていない」
市協議会 崔さん、迅速な救済訴え
差別なき社会へ
心身への深刻な被害も

東京新聞
2022 年 2 月 16 日朝刊

**＊詳しくはパソコンで、**
**「かつて『隠れコリアン』だった。今なぜ『ともに』のメッセージを川崎・桜本から発し続けるのか」などを検索してください。**

# ご支援とご協力をお願いします

シナピスでは、「ふれあい館」に対する支援と、川崎市への適切な対応の要請を葉書で送りたいと思っています。皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

## 桜本を守ってください！　地域からの訴え

差別をなくし、共に生きる地域社会を求める市民のみなさん。私たちは、多くの市民とつながりながら、共生のコミュニティ、地域社会づくりへ地域貢献してまいりました。

2015 年及び 2016 年に二度にわたり、まちを襲うようにヘイトスピーチデモが押し寄せました。ヘイトスピーチに無理やり向き合わされたまちに、「子どもを守れ！」「ハルモニを守れ！」と多くの市民が駆けつけ、体を張ってまちを守ってくれました。以来、ヘイトスピーチの根絶に向けて、つながりをひろげ、共生の課題を共有、共感する活動を進めることができたと感じています。

しかし、残念ながら差別主義者の活動は依然として続けられています。ふれあい館への脅迫状や差別電話などの攻撃も継続しています。

川崎や相模原で外国人排斥のヘイトスピーチを繰り返す「澤村うり」と名乗る差別主義者が、今月 8 日、3 本の包丁を手にした写真に「武装なう」というコメントを添えた投稿がなされました。そして、13 日には、「桜本で〜と抗争したい」とツイートし、桜本への暴行行為の発信をしました。

桜本を標的とした挑発と脅迫的発信は、看過できるものではありません。まちに暮らす市民に不安と恐怖と嫌悪を与える「澤村うり」の投稿に対して、多くの市民が、桜本のまちを守るためにご支援、ご協力いただきますよう訴えます。

社会福祉法人　青丘社
理事長　三浦知人

時報３月号より

**イエスにならう生き方を求めて**

悩みを持つ人々の痛みに寄り添い、
その悩みを少しでも分ち合うことのできる、
教会共同体をめざして

日本カトリック司教団著「いのちへのまなざし」
増補新版より

第55回「世界平和の日」教皇メッセージ
<2022年1月1日>
「世代間対話、教育、就労
――恒久的平和を築く道具として」

# 教皇フランシスコ
# 2022年平和メッセージについて 思うこと

神戸西ブロック　高橋　聡

今年の教皇平和メッセージは、平和を作り上げるものとして、対話、教育、仕事の大切さに触れておられます。高橋神父様にメッセージの解説をしていただきます。

## 対　話

教皇フランシスコは、最初に対話の大切さを取り上げておられます。確かに対話は、現代最も必要なことに思えます。誰かの声に対して、いたるところで耳を閉ざすという対応を選択する事例が起こっています。

政府の対応をとってみても、無視しているのではないか、聞く耳を持っていないのではないかという疑念を起こさせる事例が増えてきているように思えます。しかし、そういう態度によって、市民間の意見対立が激化してしまうという方向に向かっているかもしれないのです。アメリカでは、２０２１年１月に議会襲撃事件がありましたが、これは、対話ではなく分断的言説に煽られたらどういうことになるかを如実に示しています。

私たちに出来ることとしては、少なくとも自分と意見の異なる人に対しても、耳を傾ける姿勢を作っていくことが大切だと思いました。はじめからはねつけて、はじめから敵と決めつけて、ただ論破すればいいという決め打ちでかかる姿勢ではなく、相手の言っていることの中で、何か真理だと思えることには喜んで耳を傾け、ゆずる姿勢に生きることの大切さです。

## 教　育

教皇様は次に、対話に向けた人格養成としての教育に希望を託そうとしておられます。

現在、教育のための国家予算は、世界的に削減の方向に向かっており、代わりに軍事費が、冷戦終結後、最大限に増大しているそうです。

確かに日本でも、教育に関するビジネスモデルが称賛されたりして、教育それ自体より、経営の成功の方に重きが置かれたりしています。新自由主義経済を支持する人にその傾向が強いかもしれません。学校も企業のように考えて、自活しろとばかりに教育予算が削られていくようです。

教皇様は、教育は出費ではなく投資であると言われます。子どもたちに対する神の計画にもっと信頼していくようにとの励ましかもしれません。

## 就　労

３点目は、就労、仕事のことです。仕事をとおして私たちは創造的になり、豊かな文化間対話が生まれ平和を作り上げると教皇様は言われます。

非正規労働者、移住労働者たちが、今回のコロナ禍で受けた大きな打撃のことを教皇様は考えておられます。政治家、経営者の配慮を求めておられますが、私たち消費者のことも触れておられました。消費者の意識も、労働環境、企業倫理に影響を与えるということなのでしょう。

# 電力福島第一原発事故から11年目を迎えるにあたって

東京電力福島第一原発事故から 11 年目を迎えます。各地で再稼働が進み、徐々に原発への危機感が薄らいでいると感じられるなか、昨年 11 月の正義と平和全国集会 大阪大会で脱原発関係の分科会が４つも開かれたことは嬉しいことでした。

日本カトリック正義と平和協議会「平和のための脱核部会」事務局担当　　昼間範子

1 月 27 日、東京地方裁判所で「311 子ども甲状腺がん裁判」が始まりました。原発事故の当時子どもだった 6 人の若者が甲状腺がんになり、東京電力を訴えたのです。がんがすでに再発や遠隔転移している方もあり、穿刺細胞診やアイソトープ治療など、大変苦しい検査や治療を受けているそうです。進学、就職などにも影響し、将来、医療保険への加入や住宅ローンを組む際にも大きなハンディとなるそうです。

小児甲状腺がんの発病は、原発事故の被害を受けた地域一帯で急増しているのですが、政府も東電も、一貫して、甲状腺がんと事故の関係性を認めません。確かに被曝被害には、ナイフで体を切れば血が出るような目に見える形の因果関係にはありません。でもどうしてこうした状況で、絶対に関係「ない」と言い切れるのでしょうか。政府にも東電にも、その可能性を謙虚に認め、誠意ある対応をすることを望みます。

いま、世界は、気候変動問題の深刻化によって、原発は CO2 を排出しないクリーンなエネルギーだと再評価する「原子力ルネッサンス」が起きています。

昨年 11 月に英国グラスゴーで開かれた COP26 に向け、国際原子力機関（IAEA）は「原子力発電は地球温暖化防止に役立つ」とアピールするビデオを数多く YouTube に上げました。また EU は、今年 2 月 2 日、原子力発電はタクソノミー（気候変動の緩和に貢献する経済活動の分類リスト）に適合するとする最終案を承認しました。さらに、2015 年 9 月に国連が採択した SDGs（持続可能な開発目標）の「2030 アジェンダ」には、さまざまな環境負荷要因が書かれているのに、なぜか原発についての言及がいっさいないとの指摘もあります。

私たちは、原子力（核）の利用が、私たち人間のいのちを含む地球の生態系に決定的な負荷をかけるものであることを忘れてはなりません。現在、ウクライナは戦争勃発の危機にあります。万が一の場合、国境地帯にあるチェルノブイリ原発はどうなるのでしょう。被曝が原因と考えられる病気にまともな責任が取られることはなく、この問題はいつも弱いものに不利でした。広島、長崎の「黒い雨」も、戦後のビキニ水爆実験もそうでした。「原子力ルネッサンス」を支持する人たちには、このことをぜひ知ってほしいです。

**『原子力発電は“温暖化”防止の切り札ではない』**
**改訂版発行のお知らせ**

2010 年 12 月年末、まさにあの 3.11 東日本大震災による東京電力福島第一原発事故が起こる、わずか 3 か月前、日本カトリック正義と平和協議会はリーフレット『原子力発電は“温暖化”防止の切り札ではない！』を発行しました。事故後、原発の危険を的確に訴えるこのリーフレットに教会内外から注文が相次ぎ、総計で 11 万 8000 部発行、配布することができました。その後も、リーフレットが欲しいというお問合せが絶えることはありませんでしたが、長く品切れの状態となっておりました。

あれから 11 年、気候変動問題がいよいよ深刻化する中、このリーフレットが掲げた当初の問題意識「原発は温暖化防止の切り札ではない」という訴えを、今こそしなければならない事態となっています。そこで内容を一部改訂し、最新の情報を盛り込み、この度、改訂版を発行することにいたしました。

▸1部 20 円
（5 枚単位でご注文ください）

●日本カトリック正義と平和協議会
〒135-8585
東京都江東区潮見 2-10-10
Tel：03-5632-4444
Fax：03-5632-7920
E メール ：jccjp@cbcj.catholic.jp
ホームページ　https://www.jccjp.org/

助けてください　その後

# 朗報！ 日本政府がＲさん一家に命のビザを発給！！！

◇R さん一家◇

なんとか年末年始をパキスタンで乗り切ったＲさん一家が、もうすぐ日本に来ます！！！！

なんと外務省が「特段の理由」ありと認め、日本滞在ビザの申請が受理され、発給されました。現在日本に住むＲさん一家の家族が４人分の航空券を手配しており、まもなく来日する予定です。

8月 15 日のカブール陥落から ６ か月間、タリバンに追われてアフガニスタン国内を転々とし、なんとか国外に脱出、辛いパキスタンでの滞在を経てやっと家族がいる日本に来る事が実現します。

本人たちはもちろんの事、私たちスタッフも本当に嬉しく、早くＲさん一家に会いたいと思っています。

さあ、私たちのこれからの支援は日本国内に移ります。遠く離れた、ことばも文化も全く違う祖国から来る一家４人が日本の生活に馴染めるよう、こどもたちが安心して勉強できるように生活支援の準備を始めています。

多くの難民移住者にとって日本に来ることは決してゴールではありません。そこからがスタートなのです。私たち支援者にとってもこれからがスタートです。どうぞ皆さま引き続きＲさん一家のためにお祈りください。

◇アリさん一家◇

イラン滞在中のアリさん父子ですが依然日本への退避は難しく、１月下旬に出した受け入れ申請は不許可とされました。タリバンに名指しで殺害予告を受けているアリさんに帰国の道はありません。アフガニスタンにいる妻と娘たちはタリバンの襲撃を恐れ、居場所を転々としていましたが、いよいよ危険が迫ってきたので陸路アリさんがいるイランへ向けて移動を始めました。生後６ヶ月の赤ちゃんから年老いた母親の女性とこどもたち６人だけでの移動です。

アリさんからのメッセージです。「私はどうなってもいい。日本の皆さん、妻、母、そしてこどもたちを助けて下さい。タリバンは ８ 歳 ９ 歳の少女までもさらっていく。ここイランにもハザラ民族の人が大勢逃げてる。私の家族じゃなくてもいい、一人でも二人でいいから、こどもたちを助けてください。」

◇G さん親戚一家◇

国境を越えイランまで避難し、日本へ渡航できるように日本に住む親戚家族とともに努力しましたが、ビザ取得まであと一歩というところでイラン滞在ビザの期限が来てしまいました。悲嘆に暮れる家族にかける言葉もありません。アフガニスタンに帰国しても連絡を取り合い、少しでも安全に生きてゆけるよう幸運を願うばかりです。

みなさま、引き続きＧさん親戚一家のためにお祈りください。

緊急！

## アフガニスタンからの避難者が住める場所を！

社会活動センター・シナピスが受け皿となって実現したアフガニスタンからの避難家族
Ｒさん一家の大阪での生活が４月から始まります。
家族構成は、両親と 16 歳・７歳の息子二人です。
一家が住める家賃の安い住居を探しています。空き住戸など、耳より情報をお持ちの方は
下記シナピス事務局までご一報をお願いいたします。

カトリック大阪大司教区社会活動センター・シナピス
〒540-0004
大阪府大阪市中央区玉造 2-24-22
TEL:06-6942-1784・FAX:06-6920-2203
Email:sinapis@osaka.catholic.jp

## 祈りの集い

第４回シナピス主催「祈りの集い～世界平和のために祈る～」を２月 10 日に高松教区のブラッドリー神父（オブレート会）の司式で行いました。

今回は世界平和と病者、医療従事者、そのご家族のために祈りを捧げました。現在も猛威を振るう新型コロナウイルス感染症に罹患された方の体験談を聞き、生かされていることへの感謝といのちの大切さに思いを巡らせ黙想をしました。またブラッドリー神父の「休むとは魂に安らぎを与えること、この集いを通してイエスに繋がり魂の平安にあずかりましょう」という言葉は、参加者の心に染みわたりました。

共同祈願「世界平和のため」の意向では、特に緊迫しているウクライナ情勢を思いウクライナの平和を願う祈りがささげられました。「みんなのいのちと平和が守られますように」と心を一つにして祈る事ができたよい集いとなりました。

**次回は3月 10 日(木) 20 時半～**
**「東日本大震災のために祈る」**

**２月から Zoom アカウントが変更になりました**
**Zoom ミーティング ID: 761 071 2034**
**パスコード: 123456**

教えてください～！！第 22 弾　最終回！

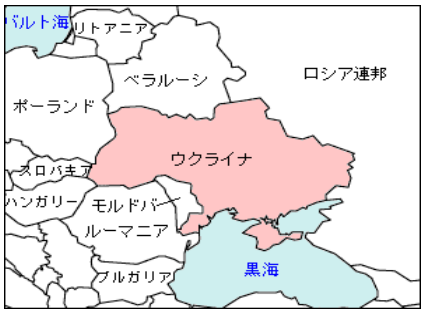
# 「エコロジカルな回心」とは？

## また武力で奪われるいのちと生活

２月 24 日にウクライナに侵攻したロシアの攻撃により、町が破壊され避難する市民の様子が連日報道されています。こどもが含まれた民間人が多数犠牲になっていることもわかってきました。プーチン大統領は侵攻前から核の使用をちらつかせ、侵攻早々チェルノブイリ原子力発電所を武力制圧し、放射性廃棄物の漏出も辞さない構えを見せ、国際社会に脅しをかけています。このままいけば紛争の泥沼化は避けられず、いのち、暮らし、環境が破壊され取り返しがつかない状態になることは間違いありません。この先どうなってしまうのでしょうか。

## そもそもウクライナでなぜ？

ウクライナはロシアと欧州を結ぶ要衝であり、歴史的にロシアとの結びつきが強い東部と、ポーランド等欧州との結びつきが強い西部とでは、宗教や言語も違うという背景があります。




地図：「旅行のとも、Zen Tech」HP より引用

1991 年にソ連から独立した後も親ロシア勢力と親西欧勢力とのせめぎあいが続いていました。今回の軍事侵攻は、NATO の東方拡大を警戒するロシアが、NATO 加入を希望する現ウクライナ政権を阻止し制圧するために引き起こしたものと言えます。

**ウクライナ軍に対し米欧各国が相次ぎ軍事支援強化を表明**

**米欧各国政府がロシアに金融制裁を表明**

犠牲になるのはいつも市民

## 武器をおろし対話と連帯を！

### 世界中に広がる戦争反対の輪

世界各地また日本国内でロシアへの抗議デモが行われています。長崎市長はロシアが核兵器使用を示唆したことを被爆者の思いを踏みにじる行為だとし、理性に基づいた対話によって緊張関係を緩和し、平和的解決への道を探ることを強く求めました。

### ３月２日の灰の水曜日 平和のための断食を

教皇フランシスコは、ウクライナ情勢について深い悲しみを表し３月２日の灰の水曜日、平和のために祈りと断食を捧げる日とすることを呼びかけています。

### 平和的解決を　メッセージの送付

シナピスは、２月中旬に日本政府、在日ロシア連邦大使館、米国大使館に平和的解決を求めるメッセージを送るよう臨時ニュースレターとホームページで呼びかけました。

**２年にわたるこの連載では、　危機に瀕した私たちの共通の家を見直し、どのいのちもとりこぼさないで守っていく方法をみなさんとともに模索してきました。回勅「ラウダート・シ」では、いのちや環境、そして平和がすべて繋がっており、危機に直面した際には連帯して立ち向かう具体的な指針として「エコロジカルな回心」が述べられています。そこに武器は必要ありません。環境破壊や自然災害、そして貧困や排除、私たちの前にはまったなしの課題が山積みです。これ以上の破壊を許さず、すべてのいのちを守るための「エコロジカルな回心」を一緒に考えませんか。**

# みなさんにとっての「エコロジカルな回心」

1. 「エコロジカルな回心」とわたし

2. 感想などお書きください。

☆お名前またはニックネーム ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

☆連絡先（メールアドレスや電話番号など）

☆投稿方法　　FAX：06-6920-2203　／　メール：sinapis@osaka.catholic.jp

QR コード＊

＊QR コードの読み込みには、スマートフォンなどで QR コードリーダーをダウンロードすることが必要です。

## 投稿欄 “ガリラヤの風”

今回は２名の方が投稿くださいました。
1000 字以内という字数制限をさせていただいておりますが、
M・ヨセフィーナさんの投稿を拝読して、そのまま掲載させていただく方がよいと判断し拡大版でお届けいたします。

イラスト：衣笠さん　タイトル　生命

### 「戦争と平和について」

衣笠さや子

戦争を経験していない私にとって、映画、小説などしか戦争を知りようがないのです。

松本清張の小説を読んで、戦後というものの、苦しみ、悲しみ、貧しさなどを思いました。

戦争を体験されている方から見れば、私は甘いのかもしれませんが。犯罪というものにいたる過程で、人ははじめになる何かが必要なのではないでしょうか。簡単にはいかないことですが、大切なことだと思います。傷つくということは恐ろしいことなのです。一言あやまってほしいということはよく有ります。報復には報復、攻撃には攻撃とならないためにも、あやまることが大切ではないでしょうか。

### 「まさか私が陽性者？そして人を癒す人」

M.ヨセフィーナ

私は日ごろから職場や家で常に触れるところはアルコール消毒をしています。職場でも人一倍感染対策をし、家では「消毒ババア」と呼ばれるほど気を付けていました。

オミクロン株が蔓延し始めたある日、私は喉に違和感を感じました。職場は人の出入りが激しいところです。万が一風邪だったら悪化する前に治したいと思い、翌日休みを貰って近くのかかりつけ医へ行きました。診療所の扉には「風邪の症状、発熱の症状がある方の受診はお控えください」と貼り紙があり、受付で熱はなく喉が痛いだけと伝えましたが風邪の症状と判断され診て貰えませんでした。風邪をひくこともできないんだなぁと思いながら、別のかかりつけ医へ電話で確認したところ、一般外来で診てもらえると分かりました。職場の特性を考えてPCR検査を希望したところ、発熱外来で受診になると伝えられ、コロナウイルスに感染している可能性があるかどうかの問診をされました。感染の可能性が低いことと、発熱外来が混んでいて感染の可能性がある人と接触するかもしれないので、一般外来での受診を勧められましが、悩んだ末発熱外来を受診し、PCR 検査もすることにしました。主治医から喉の痛みは数日の服薬で良くなる、PCR 検査の結果は翌朝電話で知らせると言われ帰宅しました。

翌朝、結果が分かったらすぐに職場へ向けて飛び出せるように身支度をして病院からの電話を待ちました。なんと結果は陽性。

熱もなく元気な私は信じられない気持ちで、職場や家族への連絡、その後の行動、濃厚接触者は誰なのか、様々なことが一瞬で頭を駆け巡りました。職場の上司は「え～！コロナなったん？大丈夫か～？あんなに消毒頑張ってたのになぁ～！元気やったら家で仕事してや～！」といつもと変わらず明るく対応してくれました。そのいつもと変わらない接し方にほっとしたのもつかの間、私が職場で初めての陽性者だったため、職場全体で対応協議がなされました。その時から自分自身は元気で昨日と何も変わらないのに、私を取り巻く環境がどんどん変わっていきました。

仕事やスタッフのスケジュールの調整、念のために同じ部署で働くスタッフ全員がPCR検査を受けることになりました。私は申し訳ない気持ちでいっぱいで、電話やメールで職場の人と話す時はまず初めに「すみません」と言ってから話をするようになっていました。同僚はみな、悪いのはウイルスで陽性になった私は全く悪くなく、謝る必要なんてないと言ってくれました。頭では理解できても責任を感じずにはおれず、皆の優しさに、そして何もできない自分に涙が溢れました。

落ち込んでいた私を元気付けてくれたのは近くに住む一人の同僚からの毎日の連絡でした。医療機関に明るい彼女は保健所への連絡の仕方、私が気を使わないように必要なものを何も言わずに差し入れしてくれ、相談、話し相手になってくれました。いつも明るくエネルギッシュな彼女なのでついつい彼女が病を患っている事を忘れてしまいますが、実際は病気のため買い物も容易ではなく、友人の手を借りて私のために行動してくれていました。後日、実は彼女自身も病気治療で飲んだ薬が合わず体調を崩し寝込んでいたと知りました。そんなに辛い状況なのに、私を気遣い続けてくれた彼女には感謝しかありません。

幸いにも私は彼女をはじめ理解ある同僚に恵まれ、誰一人私を「ばい菌扱い」したり、答えにくい質問をする人はいませんでした。そんな理解ある環境にいても、感染して皆に迷惑をかけて申し訳ないと思ってしまうこの気持ちはどこから来るのかと考えます。日本人独特の考え方なのか、ニュース報道が影響しているのか、なぜ自分はこんな気持ちになるのか。もし職場の誰かが陽性者になったらきっと私も同僚と同じ行動を取っているはず、でも陽性者の“悪いと思う気持ち“を払拭できないのなら、どうしたらいいのか。いまだに答えは出ません。でも、一つ気づいたことがあります。それは毎日連絡をし続けてくれた同僚には「申し訳ない」ではなく「有難う」という気持ちが先に出ることです。
振り返ると私は彼女に癒されていました。

# みんなのけいじばん

＜お詫びと訂正＞

シナピスニュース号外に同封した外務大臣宛 FAX 番号に誤りがありました。

×〈誤〉03-5501-8306 → ○〈正〉03-5501-8297

訂正してお詫びいたします。

誤記載の FAX 番号は外務省内の別部署のもので確実に担当部署へ届けて頂いております。外務省から「大量の FAX が届いているので早急に担当部署番号へ変更して欲しい」と連絡がありました。 皆様からのメッセージ FAX は外務省へ届いております！！

**ロシアによるウクライナ軍事侵攻がはじまりましたが、諦めずに在日ロシア連邦、在日米国大使館、日本政府への呼びかけを続けてまいりましょう!!**

## 緊急救援物資のお願い

先月からシナピスに医療支援を求めて訪ねてくる移住者の方が絶えません。

オミクロン株が蔓延して受診できる医療機関を見つけるのも難しく苦労する日々です。先日も大阪府唯一の村、千早赤阪村からナイジェリア人男性が体調不良を訴え、2 時間かけてシナピスに訪ねてきました。話を聞くと胸と頭が痛くてしんどいとの事、発熱の有無を聞くと「体温計が無いから計れない、ここで計りたい！」と言うので、計ると微熱がありました。その日は医療機関も予約がとれず、緊急の場合は救急車を呼ぶように伝えて自宅療養してもらう事になりました。後日堺市内の医療機関の予約が取れ、スタッフ付き添いで受診し、適切な治療を受けることができました。

多くの移住者の家には体温計がありません。使い方が分からない人も多く、シナピスに体温だけを計りに来る人もいます。

**余っている体温計や不織布のマスクがあればご寄付頂けませんか。**

## いつもありがとうございます！

１月～２月にはカトリック住吉教会とカトリック明石教会から食料品をたくさんいただきました。

お隣の城星学園からはお肉やお野菜卵などの差し入れを頂きました。

皆様のご協力に感謝します。

引き続き「みんなのけいじばん」では
寄稿者・ボランティア・掲示板投稿を募集しています。
是非、下記までご連絡ください。

〒540-0004
大阪市中央区玉造-24-22
TEL:06-6942-1784 FAX:06-6920-2203
Email:sinapis@osaka.catholic.jp

# シナピス工房だより

クリスマスには、シナピス工房の品物をみなさまにたくさん
お届けすることができました。みなさまのご協力に感謝いたします。
頂戴したご寄付は、難民移住者の年末年始を過ごすための費用
として大切に使わせて頂きました。

## 工房ではイースターに向けて新しい商品づくりを始めています！

洗礼を受ける方への贈り物、初聖体を受けるこどもたちへの記念の品、
その他カードやはがきも準備しています。
ぜひ、シナピスホームページからカタログをご覧ください。
https://sinapis.osaka.catholic.jp
今回はカタログの中からいくつかプレゼントに最適なものを紹介します！

### Vol.1　保存版より

洗礼式、初聖体のプレゼントにベール
はいかがですか？
セットでケースも準備しています♪

赤ちゃんケープ（首回り28cm）
￥2300

柔らかいレースベール
無地と水玉、2サイズ展開
￥1800～￥2500

￥500

← こちらは、洗礼を受ける男性に人気の
プレゼント、木製ロザリオブレスレット！
カードと一緒にいかがでしょうか？

5色あり　1枚¥350 →

商品についての質問やお問い合わせ
郵送でカタログをご希望の方は
下記シナピス事務局までご連絡ください。

〒540-0004
大阪府大阪市中央区玉造 2-24-22
TEL:06-6942-1784
FAX:06-6920-2203

**☆シナピス工房メール会員募集中！☆**
**最新のカタログが出来次第お送りいたします。**

登録希望のメールアドレスから
下記メールアドレスへ連絡もしくは
右側の QR コードからご登録ください。
メールアドレス：　sinapis@osaka.catholic.jp

緊急行動を！！

拡散希望

「神から与えられたいのちを守りたい」！

即時撤退を求めよう！！

◆ウクライナ情勢の平和的解決を！

世界を巻き込む戦争の危機

日ごとに緊迫するウクライナ情勢に関する意見表明

◆日本社会の谷間に埋もれた、たった一人の女性の危機

熊本在住のベトナム人技能実習生レー・ティ・トゥイ・リンさんの「自宅での出産と逮捕」をめぐる署名

号外でお送りしました FAX、はがき、
署名の拡散を引き続きお願いいたします！
必要な方はシナピスまでご連絡ください。

## 活動へのご支援ご協力 よろしくお願いいたします。

**郵便振替　00960-7-61419**

**加入者名　カトリック大阪大司教区シナピス**

難民移住移動者支援もよろしくお願いいたします。

### 支援物資提供のお願い

**缶詰、ハラール食品、レトルト食品**
**インスタントラーメン、調味料**
**テレフォンカード、不織布マスク**
**体温計**

お電話をお待ちしています！！

☎06-6942-1784

**HP はこちらから▶**

https://sinapis.osaka.catholic.jp/

あとがき

ウクライナへのロシア侵攻をなんとか食い止めたくて号外でハガキの呼びかけをしたところ、反響は大きく、宛先には多くのメッセージが届けられました。しかしその数日後、侵攻は開始されてしまいました。落胆と怒りの声が、あちらこちらで沸き起こっています。1 月末のテレビでは首都キエフの屋外スケートリンクで冬の娯楽を楽しむ人々の姿や、買い物でにぎわう街並みが映し出され、危機感を感じている様子は見受けられませんでしたが、2 月に入ってそのくらしは一変。家族や大切な人を守るためにと自ら志願して、攻め入るロシア軍を迎え撃とうと木製の銃を構えて、訓練に励む人たちの映像が流れました。色とりどりのくらしが、たった 1 か月で一変し暗く影に覆われ、人々のいのちは危機に晒されています。

ミャンマーもアフガニスタンも危機的状況は続いています。これから台湾も香港もいつどうなるかわかりません。武力には武力でしか対抗できないと、この状況をみて確信したという人もいます。心が揺らいでいる人もいます。しかし、私たち宗教者は「武力で平和は実現しない」と連帯して声をあげ、祈り、対話による解決の道へ「たゆまず」努力しなければ「クリスタル・ナハト」は続き、夜明けはいつまでたっても訪れないのでしょう。ミャンマーで警官たちを前に座り込んで祈るシスターの姿が忘れられません。（H）

## ▽▲▽ シナピスの主な活動 ▽▲▽

◆広報活動
- 教皇メッセージ、司教団メッセージ等社会活動の指針の伝達
- 読者と教会内外の社会活動をつなぐ機関誌としてシナピスニュースを発行

◆大阪教区・社会活動委員会との連携

◆学習会研修会の企画

◆こども基金
世界・日本のこどもたちへの援助

◆カトリック中央協議会との連携
正義と平和協議会、難民移住移動者委員会、カリタス、部落差別人権委員会に委員を派遣

◆人権教育の講師を務めるなど教育機関への働きかけ

◆難民移住移動者支援
難民移住移動者の暮らしやすい社会を目指して

難民移住移動者 相談ダイヤル

☎ 06-6941-4999

## アクセス

〒540-0004 大阪市中央区玉造 2-24-22
カトリック大阪大司教区事務局内

公共交通機関ご利用の場合
- JR 森ノ宮駅より　約 1000m
- 地下鉄中央線森ノ宮 2 番出口より　約 800m
- JR 玉造駅より　約 1000m
- 地下鉄鶴見緑地線玉造 1 番出口より　約 800m

車でお越しの場合
- 阪神高速１３号東大阪線法円坂出口
- 法円坂交差点南へ上町を東へ

**活動へのご支援ご協力をおねがいします**

**郵便振替　00960-7-61419**

**加入者名　カトリック大阪大司教区シナピス**

# 忘れない ❀ あきらめないカレンダー

どんな状況下でも、忘れず、あきらめず、希望をもって歩む皆さまに、情報を配信します。

## 2022年　3月　の 案 内

★印　カトリック関係

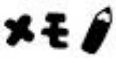
**新型コロナウイルス感染症の影響で中止される場合があります。事前に各主催者へお問い合わせください。**

### 祈祷の信徒　祈りの意向　　３月

**●世界共通の意向：＜生命倫理の課題へのキリスト者の対応＞**キリスト者が直面している生命倫理の新しい課題のために祈ります。
祈りと活動をとおして、いのちの尊厳を守り続けることができますように。
**●日本の教会の意向：＜召命＞**私たちが，それぞれの職場や家庭の中で，自分に委ねられた召命を生きることができますように。

| | | |
|---|---|---|
| 8 | 火 | 国際女性デー<br><br>★緊急　シナピス主催オンライン「祈りの集い～ウクライナのために祈る～」 20時半～(30分)<br>Zoom(先着100名)自由参加　ミーティングID: 761 071 2034　パスコード: 123456　連絡先:℡06-6942-1784<br><br>●ドキュメンタリーを視て語るつどい　■場所:大阪市立北区民センター　18時～20時半　　会場費:300円<br>上映:「グレート・レセット脱炭素社会最前線を追う」(NHKスペシャル)「隠された毒ガス兵器」(ETV特集)<br>主催:映像で現代を語る会　　問合せ℡090-5151-9763(中森)<br><br>●ウィメンズマーチおおさか2022　■場所:大阪難波の元町中公園　18時出発<br>連絡先:✉osaka.womensmarch@gmail.com |
| 9 | 水 | |
| 10 | 木 | **★シナピス主催オンライン「祈りの集い～東日本大震災に思いをはせて～」 20時半～(30分)**<br>**Zoom(先着100名)自由参加　ミーティングID: 761 071 2034　パスコード: 123456　連絡先:℡06-6942-1784** |
| 11 | 金 | 東日本大震災の日 |
| 12 | 土 | ●西宮に維新市長は要らない　～とめよう医療・福祉崩壊、コロナ失策・市民分断　　■場所:西宮勤労会館ホール　14時～<br>講演:西谷文和さん(フリージャーナリスト)　大石あきこさん(衆議院議員)　　資料代:500円<br>主催:3・12西宮に維新市長は要らない講演会実行委員会　連絡先:℡090-5132-0028(小柳久嗣)<br><br>●平和憲法を活かす政治勢力とは何か「共同テーブル・近畿」発足集会　　■場所:PLP会館5階　14時<br>主催:共同テーブル・近畿(準備会)　連絡先:℡090-1590-4462(山元)　✉zeo-yamagen@ares.eonet.ne.jp<br><br>●人種的「ソーシャルディスタンス」への挑戦～奥村多喜衛の事例～　■場所:関西セミナーハウスまたはリモート参加(Zoom) 13時半～15時50分<br>講演:吉田亮さん(同志社大学社会学部教授)　参加費:来館・リモートともに1000円(学生500円)<br>3月9日までに事前申し込み(Fax、電話、電子メール、WEBフォームから)<br>主催:公益財団法人日本クリスチャン・アカデミー関西セミナーハウス活動センター<br>連絡先:℡075-711-2117　fax075-701-5256　✉office@academy-kansai.org |
| 13 | 日 | ●さよなら原発2022関西アクション　ー原発やめて!核燃サイクル中止　　■場所:エルおおさか大ホール　12時半開場　13時開演<br>講演:山崎誠さん(衆議院議員)「原発ゼロ・核燃中止を実現するために」 福島からの報告;菅野哲さん(飯館村農業)<br>講談:神田香織さん 「ローマ教皇との運命の出会い　原発事故で避難した少年の物語」<br>アピール:福井から　宮下正一さん(原発反対福井県民会議事務局長)　避難者から　下澤陽子さん<br>参加費:一般　前売800円　当日1000円　障がい者・学生　前売400円　当日500円　避難者・高校生以下は無料<br>主催:さよなら原発　関西アクション実行委員会　連絡先:℡/fax072-843-1904 |
| 14 | 月 | ●九条の会・おおさか　WEB交流イベント 「＃憲法を変えるってどういうこと??」 19時半～21時<br>メインスピーカー　吉田栄司さん(関西大学法学部教授＆九条の会・おおさか事務局長)　定員100名<br>ZOOMによるWEB交流会　事前申込要　主催:九条の会・おおさか<br>連絡先:℡06-6365-9005　fax06-6314-3660　✉info@osaka9.org |
| 15 | 火 | 福島第一原子力発電所事故(2011年) |
| 16 | 水 | |
| 17 | 木 | |
| 18 | 金 | ★性虐待被害者のための祈りと償いの日 |

| | | |
|---|---|---|
| 19 | 土 | |
| 20 | 日 | 国際幸福デー<br><br>●憲法のつどい2022　維新の改憲を斬る！ ■オンライン集会　14時～15時半　第15回年次総会(14時～14時20分)<br>講演:澤野義一さん(大阪経済法科大学法学部教授)「維新の改憲を斬る」<br>3月13日までに事前申し込み　Zoom参加費:500円(Zoom参加の申し込みはメールアドレスから)<br>主催:とめよう改憲！おおさかネットワーク　連絡先:℡06-6374-0123(中北法律事務所)　✉matuoka@mtb.biglobe.ne.jp |
| 21 | 月 | ●武蔵野五輪弾圧裁判に勝利しよう！五輪有罪！バクチク無罪！3.21関西支援連帯集会　■場所:大淀コミュニティセンター・ホール<br>13時半開場　14時開会　第一部　発言:黒岩大助さん(武蔵野五輪弾圧当事者)<br>講演:金羽木徳志さん(釜ヶ崎パトロールの会)「ベルリンオリンピック抵抗闘争」<br>第二部　講演:田中ひかるさん(明治大学)「幻のバルセロナ人民オリンピック」<br>資料代カンパ:800円　共催:釜ヶ崎パトロールの会／自由労働者連合<br>連絡先: ℡06-7777-4935　✉free_workers_federation@riseup.net |
| 22 | 火 | 世界水の日 |
| 23 | 水 | 世界気象の日 |
| 24 | 木 | 世界結核デー<br>著しい人権侵害に関する真実に対する権利と犠牲者の尊厳のための国際人権デー |
| 25 | 金 | 奴隷及び大西洋間奴隷貿易犠牲者追悼国際デー<br>拘留中または行方不明のスタッフと連帯する国際デー |
| 26 | 土 | ★大阪大正区 沖縄タウンフィールドワーク　■場所:カトリックなみはや教会　13時～<br>案内人:安田耕一さん　問合せ・申込み:カトリック大阪教会管区部落差別人権活動センター<br>連絡先: ℡075-366-6609　fax075-366-6679 |
| 27 | 日 | ●光の領地×劇団EN連続公演から第一弾 ■場所:スペースふうら　13時半開場　14時開演<br>宮村信吾一人芝居「あの少女の隣に」:戦時性暴力を問う　要予約チケット2000円(申し込み　メール 2022fuura@gmail.com)<br>主催:関西上演実行委員会<br><br>●3.27 ストップ維新!　住んでよかったまち　大阪をつくる市民連帯集会　■場所:大阪市立大淀コミュニティセンターホール<br>13時半開場　14時開演　お話:森　裕之さん(立命館大学教授)「コジノが来たら大阪破たん」<br>参加協力券:500円　集会後、パレードあり　連絡先:℡080-3836-3771(薮田) |
| 28 | 月 | |
| 29 | 火 | |
| 30 | 水 | |
| 31 | 木 | |
| 1 | 金 | |
| 2 | 土 | 世界自閉症啓発デー<br><br>●森友事件は未解決!　森友学園問題追及6年目　怒りの集会・デモ　■場所:　豊中市立文化芸術センター　1F多目的室<br>14時開始　16時15分でも出発　「瑞穂の國記念小學院」校舎前まで<br>講演:木村　真さん(豊中市議会議員)　資料代:500円　主催:「森友学園」疑獄を許すな!実行委員会　連絡先:fax06-6304-8431 |



カトリック大阪大司教区　社会活動センター
シナピス
Social Action Center of Catholic Archdiocese of Osaka

カトリック正義と平和協議会全国集会 大阪大会 2021.11.22~23
“すべてのいのちを守ろう”
～誰も置き去りにしない世界に向けて No one will be left behind～

地上でもっとも小さいといわれている種子、それがシナピス（からし種）です。
イエスは神の愛がすべての人におよび、互いに尊重し合い、愛し合うように願って平和の種をまき、やがて鳥が巣をつくるほどの大きな木になると約束しました。

# シナピスの風

＊行事はコロナ感染症の影響で延期または中止になることがあります。ご参加の際は連絡先にお問い合わせください。

第 146 号　2022 年 3 月 6 日発行

## 3月の祈り
## 平和を祈る

主イエス・キリスト、あなたはご自分の体で
隔ての壁を打ち倒し、
十字架によって敵対する者を滅ぼし、
人類に平和をもたらしてくださいました。
今、全世界は真の平和を求めて苦しんでいます。
どうぞ、わたしたち一人ひとりが
あなたを愛し、
あなたを知り、
あなたに従うことによって、
平和の使徒となることが
出来ますように。
平和の母である聖マリアの
とりつぎによって祈ります。アーメン。

（故　相馬信夫　名古屋教区司教）

シナピスでは、毎月のお祈りをニュースレターとともにお送りしております。教会で、ご家庭で、日々のお祈りにお使いください。シナピスのホームページからも、ダウンロードしていただけます。

## 緊急行動を！！　拡散希望

ハガキ＆FAX&署名

「神から与えられた命を守りたい」

◆ただちに撤退を！！ウクライナ情勢の平和的解決を！

**世界を巻き込む戦争の危機**

日ごとに緊迫しているウクライナ情勢に関する意見表明

◆日本社会の谷間に埋もれた、

**たった一人の女性の危機**

熊本在住のベトナム人技能実習生レー・ティ・トゥイ・リンさんの自宅での出産と逮捕をめぐる署名

**●お詫びと訂正●**

**外務省の FAX 番号が他部署のものでした。**

**（誤）03-5501-8306　→（正）03-5501-8297**

### 継続中 ▼

◆ミャンマークーデターあれから１年。

いまだ混乱が続くミャンマーでは、人びとのいのちが脅かされ続けています。わたしたちにできる働きかけを続けます。

◆アフガニスタン情勢

日本政府にアフガニスタンの難民を市民として受け入れ、また日本在住の在留資格のないアフガニスタン出身者を本国に帰さないよう訴え、ともに祈りましょう。

## 大阪大正区 沖縄タウン フィールドワーク

日時：2022 年 3 月 26 日（土）
13:00～
場所：カトリックなみはや教会
案内人：安田耕一さん

大阪市の大正区にある「沖縄タウン」。本土ヤマトでは一番沖縄出身者の多いところです。なぜ、大正区に沖縄出身者が多いのか、また、米軍に奪われた沖縄の“わが土地”返せ」との正義を求める叫びの底深さを参加者皆で学びたいと思います。

問合せ・申込み：カトリック大阪教会管区
部落差別人権活動センター
☎:075-366-6609　　FAX：075-366-6679

## シナピス工房だより

**工房ではイースターに向けて新しい商品づくりを始めています！**
洗礼を受ける方への贈り物、初聖体を受けるこどもたちへの記念の品、その他カードやはがきも準備しています。
ぜひ、シナピスホームページからカタログをご覧ください。
https://sinapis.osaka.catholic.jp
今回はカタログの中からいくつかプレゼントに最適なものを紹介します！

← 赤ちゃんケープ(首回り28cm)
¥2300

洗礼式、初聖体のプレゼントにベールはいかがですか？セットでケースも準備しています♪

柔らかいレースベール
無地と水玉、2サイズ展開¥1800～¥2500 →

← こちらは、洗礼を受ける男性に人気のプレゼント、木製ロザリオブレスレット！
カードと一緒にいかがですか？

↑5 色あり　1 枚¥350

**☆シナピス工房メール会員募集中！☆**
最新のカタログが出来次第お送りいたします。
登録希望のメールアドレスから
下記メールアドレスへ連絡もしくは
右側の QR コードからご登録ください。
メールアドレス：sinapis@osaka.catholic.jp

## 第９回いのちの光 3.15 フクシマ

今年は県外の参加者は募りませんが、ともにお祈りください。

「フクシマが背負ってきたもの伝え続けるもの」

**◎講演会**
日　時：3 月 12 日（土）14：00～
場　所：カトリック元寺小路教会(宮城県仙台市)
講　師：飛田晋秀さん（写真家）
「福島の真実」

**◎ミサ・現地報告**
日　時：3 月 15 日（火）14：00～
場　所：カトリック原町教会(福島県南相馬市)
司　式：幸田和生名誉司教
報　告：飛田晋秀さん（写真家）

主　催：「いのちの光 3.15 フクシマ」実行委員会　/後援：カトリック仙台教区
協賛：日本基督教団東北教区放射能問題支援対策室いずみ
日本カトリック正義と平和協議会・カトリック正義と平和仙台協議会
問合せ：（TEL）090-2022-4007（木元）　（e-mail）inochinohikari315@yahoo.co.jp

## 祈りの集い

世界の平和のために
毎月第２木曜日　時間:20:30～(30 分)

**３月 10 日(木)**
**東日本大震災のために祈る**
司式：光延一郎神父様（イエズス会）
開催方法：Zoom（100 名まで参加可能です）
２月よりミーティング ID・パスコードを変更しています。
参加用 ID&パスコード、QR コード
ミーティング ID：　761 071 2034
パスコード：　123456

## 食糧支援のお願い

感謝

コロナ禍で解雇された技能実習生、帰国できずに困っている短期滞在者が増えています。日持ちのする食品、ハラル食品、不織布マスク、体温計などのご支援をお願いします。

## シナピスホームページ

シナピス HP はこちらから⇒
https://
sinapis.osaka.catholic.jp

カトリック大阪大司教区 社会活動センター シナピス
Tel 06-6942-1784　Fax 06-6920-2203
URL: https://sinapis.osaka.catholic.jp/

「点訳版」「音訳」
ご希望の方はシナピスまで
お申込み下さい。